

高議第 168 号
令和 7 (2025) 年 3 月 19 日

高根沢町長 加 藤 公 博 様

高根沢町議会議長 加 藤 章

「たかこう生と議員とのカフェ・ド・ギカイ」で出された意見について

令和 7 年 1 月 28 日に開催した「たかこう生と議員とのカフェ・ド・ギカイ」において、
「高根沢町の良い所、足りない所は？」や「将来住みたい街はどんな街？」というテーマで
高根沢高等学校の 2 年生 12 名と意見交換をしました。

そこで出された意見等を取りまとめた資料を提供しますので、業務の参考としていただ
ければ幸いです。

「たか^{セイ}こう生と議員とのカフェ・ド・ギカイ」のテーマに対する
 テーマ1：高根沢町の良い所、足りない所は？

No.	意 見 【良い所】	分野	担当	議会の回答
1	自然が豊かな街。 （高根沢町は、森に囲まれていて空気が澄み、四季折々の変化が感じられる。また、御料牧場に天皇陛下が訪問されているのを見たと、自然豊かだと思った。） 自然が多い。 自然が多い。 自然が豊か。 自然がいっぱいある。 自然豊か。 自然が豊かな街。 自然豊かな街。 自然がたくさんあるところ。 自然が多い。 景色がキレイ。 昔ながらの景色。 農業に適している。 （高根沢町は、田んぼなどで牛糞などを使っているため、土壌に栄養がいきわたり、質の良い米や野菜が採れる。また、平野のため、光を遮るものがあまり無く、作物の成長に良いから農業に適している。） 農業をよくしている。	《 自 然 農 業 豊 か ・ 景 色 が り 豊 々 だ 。	阿久津	高根沢町は県北に位置する那須ヶ岳、日光連山など美しい山々を眺望でき、西部には、釣りや水遊びを楽しむことのできる鬼怒川が流れ、四季折々の景色を楽しむことができる自然豊かな町です。 特に、春には情報の森や元気あっぷむらに桜が咲きほこり、夏には柏崎や桑窪地区に緑豊かな森が広がり、秋には実り豊かな田園風景が美しく、冬には北部の山々の雪景色が楽しめるなど、自然の変化を感じることができる地域です。 さらに、高根沢町では、地域の自然環境を保護し、持続可能な利用促進をするための取り組みが行われています。 宝積寺・さぎのや地域においては、地元の住民や団体が協力し、里山の下草刈り、間伐、ごみ拾いなど環境保全活動に自然教育プログラムを実施しており、子どもたちに自然の大切さを伝える機会が設けられています。これにより、地域の人々が自然と共生する意識を高めることが期待されています。 次に農業分野においては、高根沢町は、農業が盛んで町の面積の約半分を農地が占めています。生産される農産物としては、お米が中心で、令和の皇位継承に伴う儀式「大嘗祭」では、本町で生産された「とちぎの星」が献上され、高い評価を得ました。

No.	意 見 【良い所】	分野	担当	議会の回答
2	宇都宮に近い。 (宇都宮に在学・就職している場合、通学・通勤がしやすいところが良い。)	《 住 み や す い ・ 便 つ な が り と 《	齋 藤	本町は宇都宮に近く、通勤・通学に便利です。また、近隣市町への買い物も利便性があります。その反面、地元が衰退している現状もあります。 家賃が安いということが言われていますが、本町は40%が借家で、栃木県内でも一番多い借家率になっています。本町の住民は、相続税対策も考えてアパート・マンション等を建設している訳です。結果、他市町に比べ家賃が安くなるのです。 また、近所の人との挨拶ですが、本町の住民は素朴感があって、親しみやすいところがあって、非常に住みやすい地域となっています。
	宇都宮に近い街。			
	場所によっては住みやすい。			
	宝積寺方面の便利さ。			
	家賃が安い。 (私は、家賃が4万円以下だと安いと感じる。家賃が安いと感じた理由は、友人に聞いて高根沢町が家賃が安いことを知った。その後、自分でも調べ、家族にも聞いて、高根沢町が家賃が安いことが分かった。)			
	近所の人が挨拶してくれる。 (学校付近を歩いていると、挨拶をしてくれる方がいて、とてもいい気持ちになり、挨拶の大切さを知った。)			

テーマ1：高根沢町の良い所、足りない所は？

	意 見 【足りない所】	分野	担当	議会の回答
3	元気あっぶむらがある。 （元気あっぶむらを利用したことがないが、友人や利用者から広々とした露天風呂がある、自然に囲まれてキャンプができるなどの良い点があると教えてもらった。）	《 元 気 あ っ ぶ む ら 》	菅谷	私も元気あっぶむらには、頻繁に足を運んでいます、小さい子ども連れのファミリー層が多いと実感しています。特に中学生・高校生は、単独で元気あっぶむらには、行っていないように見受けられました。 元気あっぶむらは、露天風呂やグランピングがあり、大変良い所ですが、その他の施設もありますので、ぜひ一度は行ってもらいたいと思います。 今、元気あっぶむらを運営している主体が、令和7年4月から交代し、形態が変わるかもしれません。今の形態は、3月31日で終了となります。4月の1ヶ月間の準備期間を経て、5月のゴールデンウィーク位には、新しい形態でオープンされると思いますので、ぜひ、皆さん期待して行ってみてください。
4	仁井田駅の電車が少ない。 電車の本数が少ない。 烏山線の本数が少ない。 電車の本数が少ない。 （学校の授業が早く終わった時に、電車の本数が少なく、2時間近く待つことがあり困っている。しかし、烏山線は赤字で本数を増やすことができないと調べて分かったので、赤字を解消するために収益を増やせば良いと思った。そこで、よく電車で観光客の外国人を見かけるので、チャンスがあると思った。外国人が喜ぶ施設を増やせば電車を利用する外国人が増えて利益も上がると思う。例えば、足湯、書道体験、学校給食が食べられる食堂は、外国人にも人気があるので、烏山線の沿線に作ってみてはどうかと考える。） 仁井田駅のトイレがなくなるようだ。 （仁井田駅のトイレがなくなると新聞で知った。仁井田駅を利用する人たちや近隣住民の方々が、トイレがないと不便になると思い、仁井田駅の周りに公園などを作って、トイレも完備できるよう公園化するなどの案が出ていないのか、聴きたい。） 交通機関がない。	《交 通 の 便 が 悪 い 》	澤畑	電車の本数が少ないのは、全くそのとおりです。ＪＲは利益が出ないと会社を運営できないため、乗車人数が少ないと電車の本数がどんどん減ってしまいます。今は高根沢高校と烏山高校の生徒たちが主として利用している状況です。ですから、烏山の人たちも烏山線を存続させるということで、乗車促進運動を展開しています。皆さんも、大いに烏山線を利用していただいて、乗車人数が増えていけば、本数も増えてくると思いますので、ご協力よろしくお願いします。 また、仁井田駅のトイレは、烏山駅が無人化するので、烏山駅のトイレが使用できなくなることです。したがって、仁井田駅は、今までどおり使用できますので、安心してください。 仁井田駅の周辺の公園化についてですが、とても良いことだと思います。空き地を利用して、皆さんが憩える場を作っていけたらいいと思います。今後もこのような提案をして活動していけたらと考えています。

	意 見 【足りない所】	分野	担当	議会の回答
5	観光スポット。 （元気あっぶむらやグリーンパークがあるが、それぞれ離れた場所にあり、地域に住んでいない人には分かりずらいと思ったので、もっとPRしていくことが大切と考える。この2箇所がコラボしたイベントなどをするのが良いと思う。） 有名なところが少ない。賑わい。 （景観を意識した観光スポットや家族の誰もが遊べる施設などが身近にあったらと考える。宇都宮のような人々やお店のように賑わっていて、活気のある住みやすい街であったらと思う。） 活気がない。 誇れる所。 名産物がない。	《 観 光 名 ス 産 ポ 品 ッ ト ・ 賑 わ 名 所 ・ ・ 活 気 が な い 》	神 林	グリーンパークと元気あっぶむらを連携して賑わいを作るといっていますが、元気あっぶむらは現在「道の駅」となり、情報の発信力は高まっています。グリーンパークは県の施設のため、県との連携をしていきたいと考えています。また、脇を通る国道4号は、交通量が相当多く、数年後、国道408号が国道4号と結ばれます。 さらに交通量が増えると予想されるため、そこに交流拠点などを作ってはどうかという構想が私の中にありますので、町民の皆さんの意見を聴きながら進めていきたいと思っています。 景観についてですが、宇都宮は人口も多く賑わいがあります。高根沢町は、自然豊かでコンパクトな町ですので、宇都宮市の良いところを参考にしながら、本町でできるところを、例えば若者の皆さんの意見を聴くミーティングなどを設置しながら、考えていきたいと思います。
6	宝積寺周辺は店が多いが、烏山方面には店がほとんどない。 東と西で暮らしの便利さが違う。 （高根沢町を181号線で2つに分けて考えると、西側は宝積寺駅やご飯屋さん、グリーンパークなどがあるが、東側はそれらが少ないと感じる。東側は、交通の便を充実させ、遊ぶところを増やすことが、暮らしの便利さの違いの解消につながると思う。） 駅の周りに何も無い。 お店が少ない。 店舗が少ない。	《 店 舗 数 少 な い ・ 利 便 格 差 》	横 須 賀	高根沢町では、無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため、市街化区域と市街化調整区域の区分を定めています。 それにより、駅周辺や光陽台・宝石台といった市街化区域では住宅や商業施設等の建築が比較的容易に行えるため、多くの住宅が建設され、それに伴いスーパーや飲食店などが多く立地しています。 一方、それ以外の市街化調整区域は、市街化を抑制し、農地や自然環境を保全することを目的とした区域で、原則として新たな建物の建築が制限されており、農業や自然環境の保護が重視されているため、市街化区域と比べて店舗数が少なく、買い物等の面では、不便を感じると思います。 ただし、市街化調整区域は農産物の生産や自然環境の保全という面で町民にとって重要な役割を果たしているため、町づくりを考えるうえでは、このバランスを保つことが、とても重要です。
7	娯楽が少ない。 遊べる場所が少ない。 遊ぶ施設がない。 （お金を使って遊ぶ施設、例えばカラオケ店などが閉業してしまった。そして、場所も分かりにくい場所にあったので、場所も見やすい所が良い。その他、本屋やゲームセンターなどもあると良い。）	《 娯 楽 施 設 が 少 な い 》	澤 畑	以前の高根沢町には、カラオケ・本屋・ゲームセンターがあったが、今は無くなってしまいました。高根沢町は、宇都宮市やさくら市と隣接しているため、町外の店舗に行ってしまう人が多いと思います。民間の業者が店舗を本町に作ってくれるかどうかは、営業利益にかかってくるため、難しい問題です。町としては、人口を増やしていくほかは無いと思っています。今後も、人口増の施策を考えていくようにしますので、少しお時間をいただければと思います。

	意 見 【足りない所】	分野	担当	議会の回答
8	運動施設が少ない。	《 そ の 他 》	小 池	矢板駅に比べ人口が少ないとのことですが、矢板駅は矢板市の中心にあり、本町の中心は仁井田駅よりも宝積寺駅の方です。宝積寺駅の周辺は矢板市ほどではありませんが、人口は多いと感じています。 また、高根沢高校の周辺に街灯が少ないということですが、かつての仁井田商店街は栄えていましたが、どんどん営業が難しくなり廃業していきました。そういった関係で、以前は商工会が中心となって各商店に街灯を付けていきましたが、商店街が少なくなってきたため、なかなか付けてくれるお店がなくなっていきました。しかし、商工会の方でも頑張って去年から街灯をリニューアルし、LEDの明るい街灯を付けています。 高根沢高校の周辺の街灯については、今後の課題として考えていきたいと思います。
	電波が悪い。			
	街灯が少ない。 （街灯が少ないことで、運転者が歩行者や自転車に気が付かずに危ないと感じた。また、高根沢高校の近くに駅があるのにもかかわらず街灯が少ないと感じている。）			
	人口が少ない。 （矢板駅の利用者の方が多いため、人口が少ないと感じた。）			

テーマ2：将来住みたい街はどんな街？

	意 見 【住みたい街】	分野	担当	議会の回答
1	電車の本数が多いところ。 （本数が多いと乗り換えの待ち時間が無く電車に乗れるため、効率良く行動ができる。また、乗れる本数が多いと時間を気にしなくて良いので車が無くても生活できる。） 交通のアクセスが良い。 電車の本数が多く、交通の便が良い街。 （電車が多く通っていることで、様々な文化が体験できる街に住みたいと思った。また、矢板駅は、クリスマスシーズンになると大きなクリスマスツリーにイルミネーションが点灯される。そのようなものも駅にあると良いと思った。） 車を持たなくても交通機関でどこにでも行ける街。 交通など環境が整っている街。	《交通の便が良い》	野口	将来、電車の多い街に住みたいとのことですが、残念ながら現在の状況は逆行していることがあります。例えば、烏山駅が無人化することなどが挙げられます。「将来、こうなればいいなあ。」というお気持ちは分かりますが、それをどのように改善していけばいいのかということになるかと思っています。 まずは、この地域に生活する方の生活環境や生活基盤をどのように整えていくか、子育て支援、そういったものを充実させ、「ここに住んでもいいな。」と思ってもらう方を増やしていくことが大事なかと考えています。そういう中で、様々な人が集まってくことで、クリスマスや正月といった時に、飾り付けなどの工夫やゆとり、生活文化みたいなものが出てくるのではないかと思います。今後も住民を増やしていくように議員として考えていきたいと思っています。
2	店がたくさんあるところ。 お店がある程度ある街。 （お店があることによって、日用品が直ぐ買えたりするので、みんなが便利で住みやすい街になると思った。現在、高根沢町の東側は、西側と比べ、日用品を買えるスーパー等が無いため、東側にも お店ができれば、もっと住みやすくなると思う。） 店舗がたくさんある街。 商業施設など、最低限のものが揃っていて、不自由しない所。（市町内で食料品に限らず、生活に必要なものが全て揃ったら、とても便利になると思った。） 商業施設など環境が整っている街。 店がある街。 人口が多くて盛んな街。	《店舗・商業施設の充実・人口の増加》	齋藤	ご最まなご意見だと思います。まずは、お店が揃っていれば、生活しやすいことが言われています。現在、西部地区にはスーパーが4件、東部地区にはスーパーが1件あります。また、旧市街の宝積寺商店街は、シャッター通りになってしまいました。理由は、後継者がいないこと、大型店舗の出現で経営が成り立たないことが挙げられます。高齢者になると遠くへ買いに行けないので、地元で購買するという住民の意識改革も大切になってくると思われます。 人口が多ければ繁栄します。何年前かに4万人構想も打ち出している訳ですが、なかなか目標人口に達しません。以前3万1千人いた人口が、現在2万8千人代に落ち込んでいる状況です。若い方が首都圏に出て行ってしまうと、地元に戻ってこないという現象が起き、これも要因の1つと言われています。やはり高根沢町内には働く場所が少ないということも要因と考えられるため、企業誘致も考えていく必要があります。また、町内には、市街化区域と市街化調整区域とがありますが、長期的に見直しをかけて、企業でも住宅宅地でも造成できるようにしていけば、人口増加に繋がっていくと思います。

	意 見 【住みたい街】	分野	担当	議会の回答
3	子育て世代に対しての支援が多い。 (18歳までの医療の無償化とひとり親世帯への支援金が出ていること。)	《子育て世代への支援》	小池	医療費の無償化などの子どもへの支援、また小中学校の登下校の支援は、高根沢町では住民の皆さんが頑張って協力してくださっているので、私は大変誇りに思っています。 私は、1月21日に「プロポーザルたかこう」に行ってきました。その時、たかこう生の皆さんの発表がとても素晴らしかったです。6つの発表があり、その中の1つに「高校生未来の職業人育成体験報告」というものを聴かせていただきました。高校生が世代間のつながりの核となり、より良い社会を目指し、主体的かつ協働的に行動できる未来の職業人を目指すものでした。具体的な内容は、有限会社アークネットさんの協力を得て、ラスティングのフラワーガーデンアレンジメントを作成するもので、事前に高校生が指導を受け、それを小学生の皆さんに教え一緒に体験していました。皆さんの姿を見て、私は子育てと一緒に感じました。未来を担う小学生に教え伝えていくことを高校生が協力してくれることは、とても素晴らしいことですし、皆さんができることをできる範囲で、周りの人たちにやっていこうとするのは、子育てに明るい町や子育てに優しい町につながっていくので、今後も皆さんの持てるパワーをまちづくりや地域の発展につなげていっていただきたいと思います。
	子育てがしやすい街。			
	子育てがしやすい街。 (小学校周辺が、人通りや車が多いと、子どもに異変が生じた時に、直ぐ誰かに気付いてもらえることが安心できると思うので、学校周辺の環境が大事。)			
4	公園、遊ぶ場所がある。 (将来、子どもを授かった時、近くに公園がないと遊ばせることができず、運動不足によるケガの増加、体力の減少が起こると思うので、子どもの身体的成長を助けるため、公園や遊ぶ場所がある方が良いと思った。)	《公園、娯楽施設》	野口	将来を考えた公園の整備が必要であるということですが、今度、町民広場に新しい庁舎ができる予定で、それに併せた形で、公園のようなたくさんの方が憩える場みたいなものがあったとしても良いのではないかと考えています。そのために議員としての提言も必要だと思っています。 また、ショッピングモールにおきましては、どうしても隣接するさくら市の方に行ってしまう方が多いと思います。住みやすいまちづくりをするうえで、どんなふうになん人々を集め、住んでもらうようにしていくのかということを考え、その先にショッピングモールも見えてくるのかなと思います。 また、スポーツ関係では、ストリートスポーツ・アーバンスポーツが若者の間で流行っています。そういったものも楽しめるような施設を本町に作っても良いのではと考えておりますので、他市町を参考にしながら今後のまちづくりを考えていきたいなと思っています。
	遊べる施設がある街。 (日用品が買える映画館、服や飲食店、本屋、子どもが遊べる場所がある大型ショッピングモールのような施設があると良いと思った。)			
5	自然と人が調和して住める街。 (さくら市と宇都宮市を足して2で割ったような、人と自然がほどこにある街が良いと思った。)	《自然豊かな調和》	神林	自然との調和がある街に住みたいとのことですが、高根沢町は、歴史的に農業がさかんで、その後、今の市街地も形成され、発展してきました。ですので、宝積寺地区と仁井田地区の住宅街、そして他半分の面積が農地で、主に米作りで栄えてきた町です。先ほど、市街化区域と調整区域という言葉が出ましたが、住宅のところは住宅を建て、農地のところは家を建てるのが難しい状況というように、今は規制されています。ただ、そういったところから、さくら市と宇都宮市を足して2で割った街になっているのではないかと思います。それで自然環境も守れているのではないかと思います。皆さんもぜひ、近い将来、高根沢町に住んで、住み続けていただければと思います。
	自然豊かな街。			
	自然など環境が整っている街。 (スーパーなどのお店や小学校・中学校・高校などが近くにあり、田んぼや森がある街が良いと思った。)			

テーマ2：将来住みたい街はどんな街？

	意 見 【住みたい街】	分野	担当	議会の回答
6	街灯が多くて夜道でも明るい。 (私が住んでいる近くは、田んぼや畑が多く街灯が少ない場所。明るい時間は、見通しが良く安全ですが、暗くなると道が見えなくなり、とても危険なため、街灯が多いと、安心・安全に帰ることができると思った。)	《安心・安全・住みやすい》	横須賀	安心して毎日暮らせる街は、重要な課題だと思っています。
	犯罪が少ない街。			高根沢町では、安心・安全な住みやすいに町にする取り組みとして、地域防犯体制の強化として、多様化、複雑化する犯罪から町民の皆さんを守るため、自己防犯意識の啓発や防犯対策の支援など、子どもたちや高齢者を地域で見守る環境づくりを推進しています。
	安心、安全で精神的負担の少ない街。 (病気や事故を治療するための十分な補助金もそうだが、リスクがない方法で発展していくというのは、この街も明るくなっていくという、将来的に希望が持てるのは、精神的に安心できると思った。)			具体的には、いつ発生するかわからない災害や犯罪に備え、迅速に情報を伝達するため電子メールを使って、皆さんの携帯やパソコンに必要な情報を提供する 防災・防犯メールの利用促進や、児童・生徒の通学の安全確保、夜間における犯罪の防止等を目的として防犯灯を設置しています。
	生活をしているときのストレスの少ない街。 ・うるさくない ・近くにコンビニやスーパーがある ・事故が少ない安全な街 ・近くに病院がある ・近所の人と関わる機会が多い➡助け合うことができる。我が家も近所の方に食材・料理を分けてもらったりすることがあり、助かっている。 また、交友関係が築かれ、近所トラブルが減ったり、日常的に会話できることにより、日々のストレスの軽減や解消につながる。			また、交通安全対策の充実として、子どもたちや高齢者の交通事故を減らすため、警察や県、各種交通安全団体と連携し、一人ひとりが、思いやりを持ち、交通ルールとマナーを守る意識を高め、交通弱者を守る交通安全に取り組んでいます。
	程よく住みやすい街。			皆さんも 犯罪被害にあわないよう、日頃から防犯対策について考えたり、交通ルールとマナーを守り、歩行者に思いやりを持った車（自転車や自動車）の運転を心がけていただきたいと思います。さらに、消費者トラブルに巻き込まれないよう、正しい知識を身につけてください。